

# 大王製紙グリーンボンドの概要と 発行までの経緯について

---

 **大王製紙株式会社**

2019年3月1日  
経営管理本部財務部

## 大王製紙株式会社

- 事業内容 : 紙・板紙・パルプ及びその副産物の製造加工並びに販売 等
- 売上 : 5,313億円 (2018年3月期)

### あらゆる種類の紙を製造・販売する総合製紙メーカー

新聞用紙、印刷・出版用紙、段ボール原紙・包装用紙などの文化・産業を支える紙素材から、「エリエール」に代表されるティッシュ、トイレットロール、ベビー用紙おむつ「GOO.N」等のパーソナルケア商品に至る、幅広い分野で事業を展開しています。



第21回国内無担保社債	7年債 / 150億円	
第22回国内無担保社債	10年債 / 50億円	計 200億円

## ■ 発行日

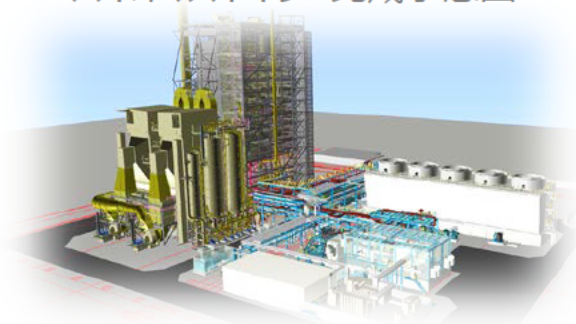
2018年10月25日

## ■ 資金使途

難処理古紙の有効活用に関する設備

黒液を燃料とするバイオマスボイラーによる発電設備

バイオマスボイラー完成予想図



## ■ 主幹事証券会社・セカンドパーティオピニオン

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社

DNV GLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

## ■ 使途 1 – 難処理古紙の有効活用に関する設備

### 難処理古紙とは

製紙原料にならない紙以外の異物(ビニール等)が付いており、通常では廃棄物処理等されている紙類 ※当社定義

→ この難処理古紙を**段ボール原紙等の製紙原料として再利用**する設備を新設、また既存設備の改造を実施

## ■ 使途 2 – 黒液を燃料とするバイオマスボイラーによる発電設備

### 黒液とは

木材チップからパルプを製造する過程で発生する廃液を濃縮したバイオマス燃料

→ この**黒液を100%燃料とするバイオマス発電**設備を新設

## ■ グリーンボンド発行検討のきっかけ

**資金計画** + **他社のグリーンボンド発行事例**  
(社債調達計画)

- グリーンボンド発行の**メリット** = **新規投資家獲得** 等を楽しみたい
- 木材由来の製品を作る企業として“**ESG**”は**重要課題**である



『**ふさわしい資金使途があるか**』

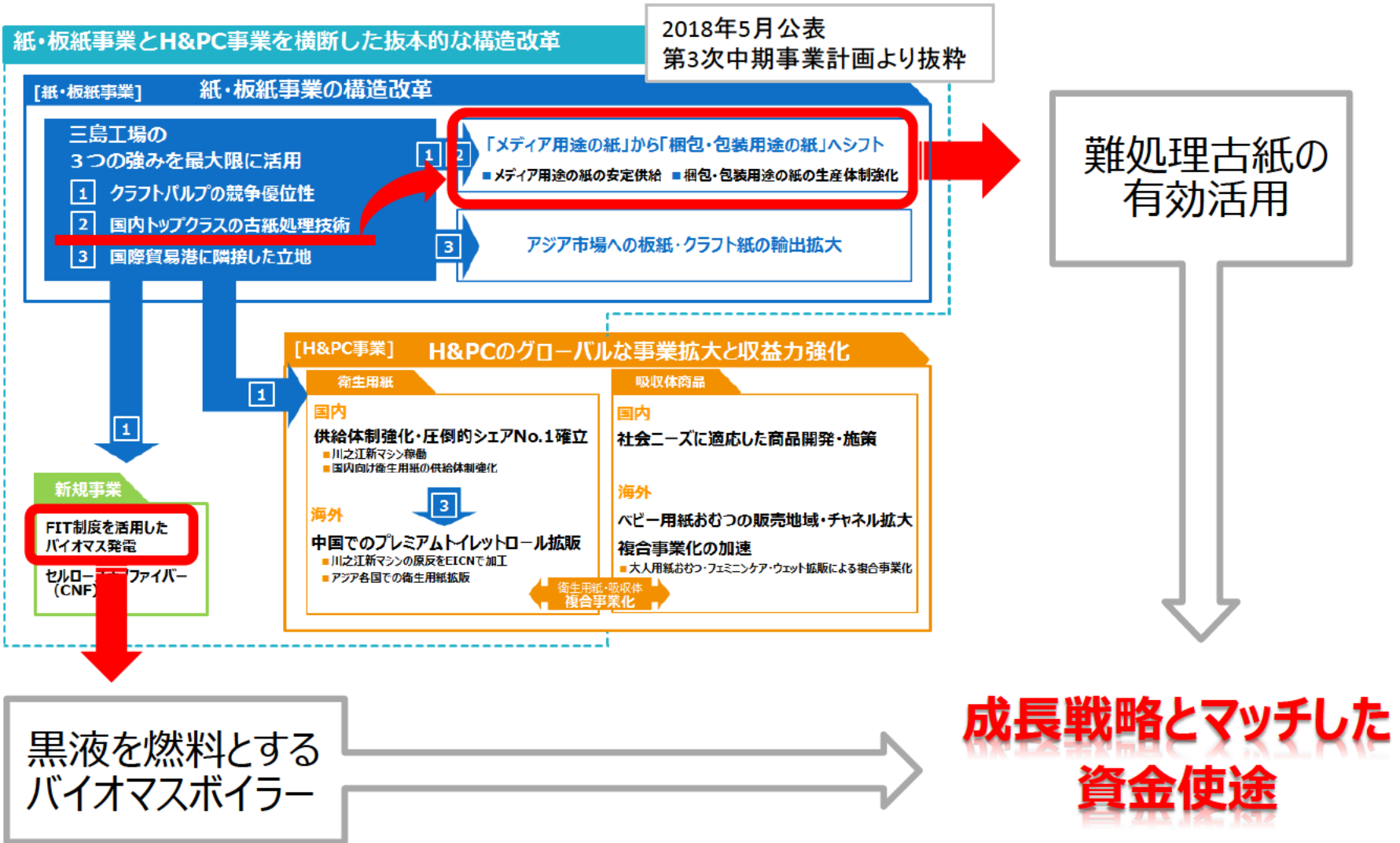
**ESGと企業の事業活動は両立することが望ましい**

**事業との関連性・収益性**

**+**

**十分な環境改善効果**

## ■ 事業との関連性・収益性



## ■ 環境改善効果

### 使途1 – 難処理古紙の有効活用

#### 1 廃棄物の削減

- ✓ 廃棄物として処理される紙類の削減

#### 2 CO<sub>2</sub>排出量の削減

- ✓ 焼却処分される難処理古紙の削減
- ✓ 難処理古紙再利用工程で発生するビニール等を廃棄物燃料として再活用

### 使途2 – 黒液を燃料とするバイオマスボイラーによる発電設備

#### 1 CO<sub>2</sub>排出量の削減

- ✓ 化石燃料由来の発電の削減

#### セカンドパーティオピニオンを取得

グリーンボンド原則や  
グリーンボンドガイドライン  
気候ボンド標準を満たした  
グリーンボンド

## ■ 発行による成果

- 新規投資家の獲得
- 投資表明投資家数 21社

青森県信用組合、越前信用金庫、大分県信用農業組合連合会、大阪府警察信用組合、観音寺信用金庫、共立信用組合、七島信用組合、太陽生命保険株式会社、館山信用金庫、但陽信用金庫、津山信用金庫、沼津信用金庫、飯能信用金庫、株式会社 福井銀行、福岡県信用農業組合連合会、福岡県南部信用組合、北海道労働金庫、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、三菱UFJ信託銀行株式会社、明治安田生命アセットマネジメント株式会社、山形第一信用組合(50音順)

## ■ グリーンボンド発行 = 組織の垣根を超えた取組み

- 工場部門等の多くの部門との連携の必要性
- 会社全体のESG意識

